

広告のページ

農業キッズプログラム事業開講式 農業キッズアンバサダー任命式 農業の広報大使としての活動がスタート！



代表で石川琉希也君が任命証を受け取りました



農家の畑さんからミニトマトの育て方などを学びました



伊勢崎興陽高校の生徒からアドバイスをもらいました



臂市長(1列目中央)、農業キッズアンバサダーの皆さん(前2列)、畑さん(2列目右)、伊勢崎興陽高校の皆さん(3列目)

7月3日、農業キッズプログラム事業開講式と農業キッズアンバサダー任命式が青少年育成センターで行われました。農業キッズプログラム事業は、市内の小学生が農業の広報大使「農業キッズアンバサダー」となり、活動を通して、食と農業の大切さを体験・学習し、農業への関心を高めるとともに交流を図るものです。農業キッズアンバサダーに任命されたのは小学4年生から6年生までの17人。第1回目の活動では、農家の畑さんからミニトマトの育て方を学んだ後、伊勢崎興陽高校の生徒の皆さんからアドバイスをもらいながら、ミニトマトの苗を鉢に植えました。今後、農業キッズアンバサダーは各種イベントに参加し、農業の振興と普及のためにPR活動を行います。

水防活動講習会 救助活動の動作を確認



救助用ボートの組み立て訓練

6月21・23日、市消防本部で水防活動講習会が行われました。参加したのは、消防団各分団の分団長など計64人。台風や豪雨による水害発生時に行う基本的な救助活動や安全対策の確認を行いました。その後の訓練では、救助用ボートの組み立てや排水ポンプによる排水の手順を一つ一つ丁寧に確認しました。

「少年の主張」伊勢崎市大会 自分の考えを堂々と発表



素晴らしい発表をした各校の代表者12人

6月29日、あずまホールで「少年の主張」伊勢崎市大会が行われました。大会には、市内の中学校と四ツ葉学園中等教育学校の各校の代表者12人が参加。代表者はそれぞれ、生命や人権の尊重、自分を知ることの必要性など、日々の暮らしの中で抱いたさまざまな思いを堂々と発表しました。